#### 8. 標準的指標例及び代表的教訓(地方行政)

本レファレンスに記載のモデルと対応する中間サブ目標

モデル名	対応する中間サブ目標
モデル①地方行政官の研修実施体制・能力の強化	1-3-2地方公務員の研修制度の強化
モデル②地方行政官の地域開発能力の向上	2-1-1地方行政官の地域開発計画策定・運営管理・モニタリング能力の向上
モデル③開発計画策定モデル・手法の形成・改善	2-1-2地域の情報、資源に基づいた地域開発計画策定手法の 確立
モデル④行政サービス提供の仕組みの整備	2-2-1行政サービス提供の仕組みの整備

## 技術協力プロジェクト/開発課題別の標準的指標例及び代表的教訓(地方行政) <u>モデル① 「地方行政官の研修実施体制・能力の強化」</u>

開発戦略目標	中間目標	プログラム目標レベルの指標	中間サブ目標	上位目標・プロジェクト目標と指標例	指標作成の方法・方針	代表的な教訓	事業目標例(プロジェクトのイメージ)	レファレンスプロジェクト
開発戦略目標	協力プログラム が対応する開発 課題レベル	相手国政府の セクター・地域開発計画におけ る目標年・指標との関連性	個別のプロジェクト で解決すべき課題 レベル	~により(アウトプット) ~を図り(アウトカム) ~に寄与する(インパクト) 指標の例	指標の設定に 当たっての考え方、 留意点やポイント	当該「中間サブ目標」に対応するプロジェクト実施の際に、必ず活用・反映すべき教訓・リスクを、 1)計画段階 2)マネジメント の視点から記載。	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	参照すべきグッドプラクティス を有するプロジェクト情報
方行政制度の整	える行政官の育成制度の整備	①中央政府からの干渉なしに地方政府が制定した法律の数ままれるというの下渉ならの反対にというがは、中央政府からの反対がないということである。)②中央政府からの権限を表にとき求める法律の数また実のとを求める法律の数また実に、一となり困難な次の段についる程度(留意らば、よとしている程度(留意らば、よとしている程度に対している程度にでは、より困難な次の段高にでは、ルケーとは、より困難な次の段高にでは、ルケーとの法律の法律のにでである。)	の研修制度の強化	(モデル記載案) 地方の状況・エーズにより適合した研修コースの運営管理に関する主要要素(研修計画、カリキュラム、研修講師、実施能力等)が改善されることにより、(アウトプット) 中央政府(研修機関)の研修運営管理能力が向上することを図り、(アウトカム) 地方行政に係わる行政官等の政策立案・実施能力が向上することに寄与する。			に改善され、地方政府等が自ら必要とする研修を実施できるようになり、研修関連機関の連携が強化され(例:中央政府一地方政府、地方政府間、大学、NGO等)ることにより、中央政府、地方政府等が、一般行政管理およ	地方行政人材育成(協力期間: 2002年4月~2005年3月)
						北スマトラ研修所が、地方分権と自治の時代に地方行政人材を育成していく地方の公務員研修の拠点として、自立的で持続的な研修運営能力向上をいかに図っていくかが課題となっていた。その中で、他州の研修機関との協力関係の構築において、研修事業の運営に関する人事交流を通じて先進例に接したことが、ISO9001:2000の導入と「研修運営スタンダード」の策定に繋がった。プロジェクトの枠組に、人事交流など先進例に接することを組み込むことにより、向上心の育成と事業の促進が期待できるであろう。 (右記レファレンスプロジェクト6.より)	いて地方政府のニーズに基づいて研修カリキュラム・モジュールが実践的な内容に改善され、教育訓練庁と州研修所の研修実施における連携が強化され、行政サービスを向上するための研修のカリキュラムが改善され、実施され、研修関連機関(州間及び州内の州・県・市)との協力関係が構築されることに	育成プロジェクト・フェーズ II (協力期間: 2005年 4月~2007年 3月)
				(標準的指標例) 1.上位目標の指標例 (基本) ①研修受講者の所属先機関の研修に対する 評価 ②研修受講者の所属先における意識と行動 の変化(アンケート、インタビュー等による) ③研修を受講した行政官の、研修内容を実務 に活用した事例		また、「相手国政府の研修担当部署をカウンターパートとしてプロジェクトを実施する場合には、プロジェクトの中に、研修実施内容のモニタリング・評価の仕組みを組み込むことによりオーナーシップの向上が図られる」も右記プロジェクト6.から教訓として導出されている。	策が明確になり、民主的地方開発委員会 (NCDD)事務局、NCDD地方開発計画小委員会、NCDD財務財政小委員会により5ヵ年開発計画と3ヵ年投資プログラムに関する業務実施体系が整備され、5ヵ年開発計画と3ヵ年投資プログラムの立案・実施管理を行うための地方行政運営に関する研修体系が整備されることにより、州政府において、5ヵ年開発	首都と州レベルの能力開発プロジェクト(PILAC2)(協力期間:2010年3月16日~2015年3月15日)
				2.プロジェクト目標の指標例 (基本) ①研修受講者の研修内容に対する満足度 ②研修管理マニュアルが作成され、それらのマニュアルに基づき研修が実施される。 ③研修実施機関が実施する公務員研修の実施回数、参加者数、参加者の理解度 (研修計画に対する)研修の実施率(研修コースの計画に対する実施率は、研修遂行能力の達成度と理解する指標)				

## 技術協力プロジェクト/開発課題別の標準的指標例及び代表的教訓(地方行政) <u>モデル① 「地方行政官の研修実施体制・能力の強化」</u>

開発戦略目標	中間目標	プログラム目標レベルの指標	中間サブ目標	上位目標・プロジェクト目標と指標例	指標作成の方法・方針	代表的な教訓	事業目標例(プロジェクトのイメージ)	レファレンスプロジェクト
開発戦略目標	協力プログラム が対応する開発 課題レベル	相手国政府の セクター・地域開発計画におけ る目標年・指標との関連性	個別のプロジェクトで解決すべき課題レベル	~により(アウトプット) ~を図り(アウトカム) ~に寄与する(インパクト) 指標の例	指標の設定に 当たっての考え方、 留意点やポイント	当該「中間サブ目標」に対応するプロジェクト実施の際に、必ず活用・反映すべき教訓・リスクを、 1)計画段階 2)マネジメント の視点から記載。	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	参照すべきグッドプラクティス を有するプロジェクト情報
						・流動的な状況下でのプロジェクトデザイン及び実施体制のあり方本プロジェクトは計画段階から、プラに応じて柔軟に計画を見直すことの必要性が指摘されていた。実際に、本プロジェクトは大きな計画変更から細かいプロジェクト活動内容の調整に至るまでそのように実施されたが、それに大きく貢献したのは、不断に情報収集を行い戦略的に次の展開を考える努力であった。今後、世界各地で復興から開発への移行過程の支援が展開されていくことが予想されるなかで、本プロジェクトがプロジェクトデザインに考較性をもたせ、情報収集を重要な活動として位置づけたことにより成果をあげたことは、他の類似する状況でのプロジェクトに有益な示唆となるものと思われる。(右記レファレンスプロジェクト17. より)	州行政局、地方自治体、研修実施機関)の調整を適切に行い、地方自治体のニーズを踏まえた既存研修の改訂・実施及び新規研修の開発・実施を行う能力が向上されることにより、地方自治体におけるパイロット事業を通じて効果的な研修が提供される仕組みが確立することを図り、地方自治体が、職員に対して効果的な研修(長期・短期)を実施することが出	修能力強化プロジェクト フェーズ2(協力期間: 2011年7月~2015年7月)

#### 技術協力プロジェクト/開発課題別の標準的指標例及び代表的教訓(地方行政) <u>モデル②「地方行政官の地域開発能力の向上」</u>

開発戦略目標	中間目標	プログラム目標レベルの指標	中間サブ目標	上位目標・プロジェクト目標と指標例	指標作成の方法・方針	代表的な教訓	事業目標例(プロジェクトのイメージ)	レファレンスプロジェクト
開発戦略目標	協力プログラム が対応する開発 課題レベル	相手国政府の セクター・地域開発計画におけ る目標年・指標との関連性	個別のプロジェクト で解決すべき課題 レベル	~により(アウトプット) ~を図り(アウトカム) ~に寄与する(インパクト) 指標の例	指標の設定に 当たっての考え方、 留意点やポイント	当該「中間サブ目標」に対応するプロジェクト実施の際に、必ず活用・反映すべき教訓・リスクを、 1)計画段階 2)マネジメント の視点から記載。	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	参照すべきグッドプラクティス を有するプロジェクト情報
	反映した計画の 策定	①地方政府が住民のインプットを活用し、開発計画や投資を実行した数またはパーセンティンティンのでは、市民の十分な基準立のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	の地域開発計画策定・運営管理・モニタリング能力の向上	地方自治体の事業実施をモニタリング・監督 する所管中央政府のキャパシティが強化され				めの能力強化プログラムプロジェクト(協力期間: 2006年 8月~ 2009年 4月)
				(標準的指標例) 1.上位目標の指標例 (基本) ①地方政府によって計画されたプロジェクトの 執行率 ②地方開発計画のアウトカム目標への貢献が 示されたプロジェクト・プログラムの計画及び 実施件数 ③地域住民の地域開発事業に対する満足度 (アンケート等で測る)		地方分権化への協力については、経験の十分でない地方政府への協力に焦点が当てられるが、分権化当初は中央・地方間の関係が安定することに時間を要することが多い。中央政府機関に対しても、長期専門家を配置するか否かは別として、中央と地方の関係整備への協力について、プロジェクトのフレームワークに適切に組み入れることが必要である。また、その中で、プロジェクトとしても、あるべき中央と地方の役割について、ビジョンを形成・共有していくことが求	ティブに基づいて策定され、実施され、地方 政府の地域開発分野における人材が育成され、地域開発にかかる州・市/県レベルの地 域間協力が促進され、大学・NGO・民間セク ター、住民組織等の地域開発関係者/機関 が、地域開発プロセスに適切に関与し、地域 開発プログラム/プロジェクトが地域イニシ アティブに基づいて策定され、実施されること により、中央政府(内務省地域開発総局)と 選定された州政府において、地方自治を推	地域開発政策支援(協力期間: 2001年4月~2004年4月)
				2.プロジェクト目標の指標例 (基本) ①対象自治体で、権限委譲後の組織図と最適 人員数、管理職の職務分掌・業績管理制度が 制定される。 ②地方行政官により地域開発事業が、ガイド ラインに沿って定期的にモニタリング・評価さ れている(*)。 ③プロジェクト内で作成したガイドブックに記載 されたプロセスと手続に従って、各対象自治体 において実施・運営される社会開発事業の数 が、○●年までに少なくともXX件となる。		PDCAサイクルの改善の能力向上の方法として、より効果的である。しかし、パイロットプロジェクトの実施過程に、関係者の意識が集中し、能力向上の成果に対する関心が薄くなりがちである。能力向上の効果を、プロジェクト期間を通じて測定を継続する明確な方針と計画を、プロジェクトの計画策定段階で立てること、専門家、C/P、ターゲットグループ、その世界を表すると、プロジェクトの日的は能力向上に表え	礎情報の分析・調査能力が向上し、地方行政官の地域開発計画策定能力が向上し、地方行政官の地域開発事業実施・管理能力が向上し、地方行政官のモニタリング、評価能力が向上し、事業予算・費用確保がなされることにより、対象とする州において、持続的地域開発のための地方行政能力が強化されることを図り、対象州において、州政府により、	発能力向上計画プロジェクト(協力期間:2007年 10月 ~ 2011年3月)

## 技術協力プロジェクト/開発課題別の標準的指標例及び代表的教訓(地方行政) <u>モデル②「地方行政官の地域開発能力の向上」</u>

開発戦略目標中間目標	プログラム目標レベルの指標	中間サブ目標	上位目標・プロジェクト目標と指標例	指標作成の方法・方針	代表的な教訓	事業目標例(プロジェクトのイメージ)	レファレンスプロジェクト
協力プログラム 開発戦略目標が対応する開発 課題レベル	相手国政府の セクター・地域開発計画におけ る目標年・指標との関連性	個別のプロジェクト で解決すべき課題 レベル	~により(アウトプット) ~を図り(アウトカム) ~に寄与する(インパクト) 指標の例	指標の設定に 当たっての考え方、 留意点やポイント	当該「中間サブ目標」に対応するプロジェクト実施の際に、必ず活用・反映すべき教訓・リスクを、 1)計画段階 2)マネジメント の視点から記載。	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	参照すべきグッドプラクティス を有するプロジェクト情報
					パイロットプロジェクトの選定にあたっては、プロジェクト 完了後の活動継続(日常業務への定着)を考慮する必要 性があるとしている。	発事業実施のためのマネジメントの枠組みが整備され、各パイロット市の能力評価結果に基づき、社会開発事業に係るプロジェクトサイクルマネジメントの手法が体系化され、パイロット市幹部、市職員、地域住民リーダーの社会開発事業に係るプロジェクトサイ	力強化プロジェクト(協力期間: 2013年3月~2016年9月)
						(中央-県-市町村各レベルの組織間関係を調整する役割を果たしている)内務司法省において、地方政府、特に市町村における開発計画立案支援のための専門行政、特に市町村における地域開発計画策定を担う人材が育成されることにより、内務司法省が、地方政府レベルでの地域開発計画策定官が多を方政官が、地方での地域開発計画策定能力を向上させることをを図りによる支援のもとで、地方政府による支援のもとで、地方政府による支援のもとで、地方等計画が策定されることに寄与する。	[ 12月 ]

## 技術協力プロジェクト/開発課題別の標準的指標例及び代表的教訓(地方行政) <u>モデル③ 「開発計画策定モデル・手法の形成・改善」</u>

開発戦略目標	中間目標	プログラム目標レベルの指標	中間サブ目標	上位目標・プロジェクト目標と指標例	指標作成の方法・方針	代表的な教訓	事業目標例(プロジェクトのイメージ)	レファレンスプロジェクト
開発戦略目標	協力プログラム が対応する開発 課題レベル	相手国政府の セクター・地域開発計画におけ る目標年・指標との関連性	個別のプロジェクト で解決すべき課題 レベル	〜により(アウトプット) 〜を図り(アウトカム) 〜に寄与する(インパクト) 指標の例	指標の設定に 当たっての考え方、 留意点やポイント	当該「中間サブ目標」に対応するプロジェクト実施の際に、必ず活用・反映すべき教訓・リスクを、 1)計画段階 2)マネジメント の視点から記載。	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	参照すべきグッドプラクティス を有するプロジェクト情報
	反映した計画の 策定	①地方政府が住民のインプットを活用し、開発計画や投資をでした関発計画や投資をでした。 では、開発計画をおいて、関連では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	資源に基づいた地域開発計画策定手法の確立	(モデル記載案) 地方行政官の地域リソースを活用した計画策定、運営管理、モニタリング能力の向上により、 (アウトプット) 地域ニーズを反映した開発計画策定手法が確立することを図り、 (アウトカム) 地域のステークホルダーが参画した参加型地域開発計画が計画・実施されることに寄与する。 (インパクト)		技術協力プロジェクトは、カウンターパートへの技術移転により、国・社会・住民の抱えている課題を解決し、プロジェクト終了後その解決策が、ある程度の継続性・発展性を発揮するということを基本としている。このことに基づいて本案件を考えた場合、案件を形成する際の構想に、緊急支援・インフラ建設等への強い意図が存在し、技術移転のコンポーネントが相対的に弱かった。このことにより、プロジェクト成果を取りまとめるモデル構築に関する投入時期には改善の余地がみられる。今後、同様の意図をもって形成されるプロジェクトにおいては、インフラ建設等と技術協力、両者のコンポーネントのバランスに留意することが重要である。(右記レファレンスプロジェクト	住民のニーズや問題点を地方政府が把握し、(地方政府の組織分析調査により)CCB事業に関する地方政府の行政(運営)上の改善点を地方政府が把握し、モデルディストリクト政府によってプロジェクトサイクルのコンセプトを活用したCCB事業改善の経験を活用し、CCB事業改善の経験を活用し、CCB	地方行政能力向上プロジェクト(協力期間: 2004 年8月~2007 年2月)
				(標準的指標例) 上位目標の指標例 (基本) ①本プロジェクトで策定された開発計画策定モデル/手法を活用した策定された計画数 ②本プロジェクトで策定された開発計画策定モデル/手法を活用した実施された事業数			CCB改善計画で得た知識経験を州政府・地方政府のCCBに関わる行政官等に普及し、ハフィサバードの地方政府において継続的なCCB事業改善活動が行われるよう支援し、ハフィサバードの地域住民グループ等が、ネットワーク作り等の活動を通じて組織強力とさいるよう支援することにより、州政府・地域住民(ハフィサバード)が、コミュニティ開発事業/活動改善にCCB改善計での経験・教訓・成果を取り込み定着させていての経験・教訓・成果を取り込み定着させているとを図り、活発な地域住民の活動及び、地方政府及び、地域住民がコミュニティ開発事業に関する能力を強化することに寄与する。	地方行政能力向上(F/U)プロジェクト(協力期間: 2007年8月01日 ~ 2009年7月)
				2. プロジェクト目標の指標例 ①プロジェクトで策定された開発計画策定モデル/手法が、政府により承認される。 ②本モデル/手法を用いて計画策定が可能な能力を有する行政官が○●名養成される。 ③本モデル/手法の普及に携わるインストラクターが○●名養成される。 ④本モデル/手法の普及研修コースが定期的こ実施されている。			CDC(村落開発委員会)グループが立案したプロジェクトにより、社会経済インフラ/社会サービス(想定される事例:フィーダー道路学の整備、井戸の設置、灌漑施設の復旧、学校や医療施設の整備・運営、識字教育のよん、女性支援活動、農産物加工・販売により、大力の開発計画立案及び実施能力がひ事され、対象コミュニティの開発計画立案及び実施能力がひ事さることにより、のコミュニティ開発者皆がであることにより、国家連帯プログラム(NSP)により設立されたののは、対象地域において、生計向上と貧困削減が実現することに寄与する。	支援プロジェクト(協力期間: 2005年 11月~ 2010年 10月)

# 技術協力プロジェクト/開発課題別の標準的指標例及び代表的教訓(地方行政) <u>モデル③「開発計画策定モデル・手法の形成・改善</u>」

開発戦略目標	中間目標	プログラム目標レベルの指標	中間サブ目標	上位目標・プロジェクト目標と指標例	指標作成の方法・方針	代表的な教訓	事業目標例(プロジェクトのイメージ)	レファレンスプロジェクト
開発戦略目標	協力プログラム が対応する開発 課題レベル	相手国政府の セクター・地域開発計画におけ る目標年・指標との関連性	個別のプロジェクト で解決すべき課題 レベル	~により(アウトプット) ~を図り(アウトカム) ~に寄与する(インパクト) 指標の例	指標の設定に 当たっての考え方、 留意点やポイント	当該「中間サブ目標」に対応するプロジェクト実施の際に、必ず活用・反映すべき教訓・リスクを、 1)計画段階 2)マネジメント の視点から記載。		参照すべきグッドプラクティス を有するプロジェクト情報
							BAPPENAS及び関連中央行政機関、地方政府、CBOのコミュニティ開発における参加型開発手法が改善され、JICAのCommunity Empowerment Program (CEP) 及びインドネシア政府が実施しているコミュニティ開発事業モデル」が試作され、共同で実施され、インドネシア国東のグッパブラクティスが蓄積されることにより、「コミュニティ開発事業モデル」における、BAPPENAS及び関係機関、パイロット事業対象地方政府、プロジェクトの連携が改善されることとを図り、参加型のコミュニティ開発の政策及びプロジェクト、ブログラムが形成、実施されることに寄与する。	月)

# 技術協力プロジェクト/開発課題別の標準的指標例及び代表的教訓(地方行政) <u>モデル④「行政サービス提供の仕組みの整備」</u>

開発戦略目標	中間目標	プログラム目標レベルの指標	中間サブ目標	上位目標・プロジェクト目標と指標例	指標作成の方法・方針	代表的な教訓	事業目標例(プロジェクトのイメージ)	レファレンスプロジェクト
開発戦略目標	協力プログラム が対応する開発 課題レベル	相手国政府の セクター・地域開発計画におけ る目標年・指標との関連性	個別のプロジェクト で解決すべき課題 レベル	〜により(アウトプット) 〜を図り(アウトカム) 〜に寄与する(インパクト) 指標の例	指標の設定に 当たっての考え方、 留意点やポイント	当該「中間サブ目標」に対応するプロジェクト実施の際に、必ず活用・反映すべき教訓・リスクを、 1)計画段階 2)マネジメント の視点から記載。	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	参照すべきグッドプラクティス を有するプロジェクト情報
		サートには、   から出された意見を取り入定の   決定された地方のテージ   大定の参加   によったはパーの参いです。   たは、   の参いでするには、   の参いでする。   たいでする。   にはいでする。   にはいではいでする。   にはいでする。   にはいでする。   にはいではいできる。   にはいできる。   にはいできる。   にはいできる。   にはいできる。   にはいできる。   にはいできる。   にはいではいできる。   にはいできる。   にはいいではいではいできる。   にはいできる。   にはいいではいではいできる。   にはいいではいいではいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで		行政サービスの提供にあたる行政官の能力向上や地域ステークホルダーとの協働による	ズや声」を、当該国の関連法令と関係当局の許認可に沿って、グループ形成することが必要。	技術協力プロジェクトにより、向上したC/Pの技能を実際の行政サービスに活用するためには、適切な開発計画を策定し必要な予算を確保すること、当該行政組織の中でC/Pを適切な部署やタスクフォースに配置することが必要である。行政能力向上を目的とする技術協力プロジェクトの自立発展性をより高めるためには、活動の中に行政組織の意思決定者(首長や地方議員など)を対象とするコンポーネントを組み込んでおき、彼らの理解や関心を高める工夫が必要である。(右記レファレンスプロジェクト12.より)	FOCALプロセス(住民参加のもと、市の現状調査(ベースライン調査)、開発計算を表計のでは、開発できるようになり、対象できるようになり、対象できるようになり、対象できるようになり、対象できるようにはができるようできるようできるようででは、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対	、る と
				2.プロジェクト目標の指標例 (基本) ①少なくとも対象市の○割以上において住民参加型開発プロセスの手法、ツール、様式が適用される。 ②コミュニティ開発計画で立案された事業のうち実施された事業の数。 ③対象市の少なくとも●%のコミュニティにおいてコミュニティ開発計画が見直される。 ④住民参加型開発プロセスの各コンポーネントにおいてコミュニティの参加の度合いが増す。		プロジェクトの実施においてホンジュラス政府の制度や仕組みなどの既存のシステムを活用しつつ、ベースライン調査や参加型計画プロセスを加えて改善を行った。また、市連合会への能力強化、現地の事情に詳しいローカルコンサルタントの活用なども効果的だった。このような既存のシステムと地元資源の活用が効果的かつ自立発展的なプロジェクトの運営に結びついている。(右記レファレンスプロジェクト34. より)  ・(悪い教訓の例として記載)実施サイクルを考慮した適切なプロジェクト期間の設定当初のプロジェクト実施期間は2年半の予定であったが、中央機関からの資金のディスバースが遅れたためパイロットプロジェクトの実施サイクルの期間が延びたので、20カ月の延長が必要となった。このように、その国の事業の実施サイクルとそれに伴う不測の事態の出現をあるときには、実施サイクルとそれに伴う不測の事態の出現をある程度考慮して十分なプロジェクト実施期間を設定する必要がある。(右記レファレンスプロジェクト34. より)	策定、計画に基づいた社会インフラ整備事業の形成・実施、組織活動と予算計画及び行政財務管理の諸プロセスが改善され、ベースライン調査や市開発計画策定から得られた、結果を分析し課題・有効な方法が把握され、市町村小規模社会インフラ整備事業のPEM(市町村実施型)事業の内に結果を分析し、PEM事業に関する課題、有効な方法が把握され、改善プロート市連合会及び構成市において、社会での経験を確認し、普及することにより、イギート市連合会及び構成市において、社会である課題、有効な方法が把握され、改善プロート市連合会及び構成市において、社会である課題、有効な方法が把握され、改善プロートでである。	発能力強化プロジェクト(協力期間: 2006 年9 月~2010 年 10 月)

## 技術協力プロジェクト/開発課題別の標準的指標例及び代表的教訓(地方行政) <u>モデル④「行政サービス提供の仕組みの整備」</u>

開発戦略目標	中間目標	プログラム目標レベルの指標	中間サブ目標	上位目標・プロジェクト目標と指標例	指標作成の方法・方針	代表的な教訓	事業目標例(プロジェクトのイメージ)	レファレンスプロジェクト
開発戦略目標	協力プログラム が対応する開発 課題レベル	相手国政府の セクター・地域開発計画におけ る目標年・指標との関連性	個別のプロジェクト で解決すべき課題 レベル	~により(アウトプット) ~を図り(アウトカム) ~に寄与する(インパクト) 指標の例	指標の設定に 当たっての考え方、 留意点やポイント	当該「中間サブ目標」に対応するプロジェクト実施の際に、必ず活用・反映すべき教訓・リスクを、 1)計画段階 2)マネジメント の視点から記載。	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	参照すべきグッドプラクティス を有するプロジェクト情報
							(BRDB)の行政官として育成され、UCCが、郡、ユニオン(行政村)、村落間の連携を強化する土台として機能し、村落開発委員会(VC)を中心として農村住民の開発プロセス	フェーズ2(協力期間: 2005年6月~ 2010年5月